TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

エフェソの信徒への手紙 - 恵みのスペクトル 目かけ以上のもの
エフェソの信徒への手紙 1:7-10

2025年5月3日＆4日
ジェシー・マーク・セザリオ 牧師

挨拶
一緒に集まって礼拝に参加している皆さん、TBC ウエスト・トウキョウ、TBC 三郷、スバ・バプテスト教会、トンガ・バプテスト教会の皆さん、こんにちは。父なる神と主イエス・キリストの恵みと平和がありますように。お祈りしましょう。

はじめに
今日は「恵みのスペクトル」というシリーズを続けます。ここで言う恵みとは、もちろん神の恵みのことです。

スペクトルというのは、光がプリズムを通過したときに見える色のことを指します。しかし、これは実は私たちの目が感知できる光の電磁スペクトルのほんの一部に過ぎません。私たちの目に見える光以外に、どれだけの光が存在するかご存じでしょうか。シンプルに答えると、「はるかに、はるかに多く」です。

電磁スペクトル全体を、両方向に無限に伸びる巨大なピアノの鍵盤だと考えてみてください。そして、私たちが目で見える可視光は、真ん中に見える 1 つか 2 つの鍵(キー)に過ぎません。その他の鍵(キー)は、膨大な範囲の音符を網羅し、目に見えない形の電磁放射線を表しています。

目に見えないほど多くの光が存在し、それは私たちにとってはまさにミステリーです。また、見かけ以上に多くの恵みも存在しています。しかし神は光の全てを見えています。なぜかというと、神は光を言葉によって存在させたからです。今、私たちが信仰を通して見ている光は、闇の中に輝く光です。

今日のメッセージ「見かけ以上のもの」を通して、私たちはどれだけ多くのことを信仰によって見ることができるかを見ていきましょう。

メッセージのイントロ
覚えていますか。今聖書の中で最も長い文、3 節から始まる部分を見ています。また、これも覚えていますか。聖書の中で最も長い文には、私たちがキリストにあって受ける祝福について書かれており、その祝福はすべて神の恵みによってもたらされるということを。

聖書はエフェソの信徒への手紙 1:3 でこうあります。
3 私たちの主イエス・キリストの父なる神が、ほめたたえられますように。神はキリストにあって、天上で、あらゆる霊の祝福をもって私たちを祝福し、

パウロは次に、神が私たちをご自分の子にしようと、前もってお定めになったこと(予定説)に焦点を当てます。私たちが前もって神の子になることが定められた理由のすべては関連しているように見えます。

聖書にはこのように書かれています。
- 4 節 わたしたちが神の御前で聖なる、傷のない者となるため
- 5 節 聖なる神の子として迎え入れられ
- 6 節 神に栄光を帰するために、受け入れられている

すべてのクリスチャンは、完全で神聖な栄光を帰す神の子となるように選ばれています。

新約聖書でギリシャ人についてこれほど多く言及されているのはなぜか、不思議に思ったことはありませんか。というのも、この時代はローマ帝国の中期でした。パウロは手紙の中で、ユダヤ人とローマ人ではなく、ユダヤ人とギリシャ人によく語っています。これは、当時、ギリシャ文化とギリシャ哲学がローマ帝国を支配していたためです。1 世紀のローマ帝国では、ギリシャ哲学が広く浸透していました。ローマ人はギリシャ哲学を単に学ぶだけでなく、その支持者となり、その思想を自らのローマ人としての背景に適応させたほどでした。

ですから、パウロにとって選択肢は、聖書によって形作られた哲学と世界観に従って生きるか、それともギリシャの哲学と世界観に浸った世界の多くの人々のように生きるかのどちらかでした。

さて、ギリシャ哲学はプラトン主義の影響を強く受けていました。プラトン主義において注目すべき重要な点は、支持者たちが、地球上のあらゆるものには「善の形相」と呼ばれる完全な形態があり、それらは物理的な地上の領域の外に存在していたと考えていました。

彼らからによると、地上の領域にあるもの、つまり今この部屋で目にしているものは全部不完全であり、天の領域には存在できません。実際、ギリシャの神々は、ローマ人の彼らの神ではなかったため、完全に「善の形相」の下位に置いていました。それとは対照的に、ユダヤ教の信仰と哲学では、創造主は完全で聖なる存在であり、神はすべてを完璧に創造され、アダムとイブを含め、人間も完璧に創造したと主張しています。しかし堕落後は同じように、地上にあるもの―特に人間―は完璧でなくなったと信じていました。

ですから、イエスが現れ「神の王国はあなたたちの中にある！」と言いながらまわっていたとき、人々は本当に驚きました。なぜなら、そのような概念はユダヤ人にもギリシャ人にも存在しなかったからです。それはイエスが天からこの世に来た時までした。イエスがそうしたのは、私たちが、神の国に入り、永遠の命が与えられためでした。

エフェソの信徒への手紙 1:7
7 私たちはこの御子において、その血による贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。これは、神の豊かな恵みによるものです。

7 節に注目すると、パウロが「贖い」と「罪の赦し」をどのように結びつけているか分かります。「贖い」はここではまさに完璧な言葉です。なぜならば、ギリシャ人にとって何かが善く正しくされたものを想起させると同時に、義が適用されるために何らかの交換が行われたという考えは、ユダヤ教の思想の核心でもあったからです。パウロは両方の思想哲学について語る達人でした。

まず「贖われた」という言葉は「罪の赦し」と同じ意味であることに注目してください。さて、3 つの前置詞に注目することで次の聖句を解釈するために助けてくれます。それらは、「～において(in)」,「～による(through)」,「～による(according to)」の3つです。

イエスにおいて、贖いを得ている。
イエスの血によって、神の豊かな恵みによって。

ここでパウロは、ギリシャ人とユダヤ人の両方に語り、もし人類がイエス・キリストの内にいて、完璧であるイエス・キリストにおいて、完璧な犠牲であるイエスの血によって、ユダヤ人もその他の世界中のすべての人々が贖われることができると言いました。そして、これは、神の栄光のために神の恵みによって行われました。

実例
初めて日本に来た時、私は日本人の英語クラスの生徒と私の友人の3人で電車に乗った思い出があります。電車はのんびりと走り、車内

は少し混雑していました。後ろには、日本人らしき女子生徒が2人座っていました。彼女たちを特に気に留めてはいませんでした。

私が友人と話をしていると、彼女たちは突然笑い出し、完璧な英語で話し始めたのが聞こえてきました。そして、まるで新しい言語を話しているかのように、流暢な英語と日本語を織り交ぜながら話をしていました。感銘を受けた私たちは、お互い顔を見合わせ、同時に「彼女たちのように話せたらいいのに！」と言いました。

日本に住んでいる皆さんなら、私の言いたいことが分かると思います。何かを伝えようとする時に、日本語に訳していうよりも、元の言語の言葉をそのまま使った方が、より意味が伝わりやすい場合があります。

パウロは手紙の中でよくこの手法を取り入れており、ここでもそうしています。ギリシャ人にとって、神に受け入れられるということは、神の中、完全なる神の形態の中にあることです。ユダヤ人にとって、神に受け入れられるには、救い主であるメシアの完全な犠牲が必要です。

フィリピの信徒への手紙 1:6 には
6 あなたがたの間で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までにその業を完成してくださると、私は確信しています。
と書かれています。

このように話すことで、パウロは両方のグループに対して真実を語り、不可能なことがどうして起こっているのかという疑問に答えます。神はあらゆる面で私たちを完全にしてくださいます。それが私たちの希望です。

間違った適用
福音を伝える際に、メッセージを聞き手に合わせることがあります。これは重要なことです。しかし、福音を人に理解してもらうのに、破ってはならないルールが 1 つあります。それは、福音の真理を変えないということです。混乱させないように注意すべきです。真実を歪めるのではなく、真理をより明確にするために、物事を明らかにしようするべきです。

次世代の人々は私たちがどのように福音を伝えるかに期待しています。私たちは、お互いにつながり合っていると感じられなかったり、今、自分がしていることが本当に重要だと感じられなかったりすることがしばしばあります。ある説教者が「イエス・キリストのために決断しませんか」、「イエスのもとに来てください」、「神は皆さんを愛しています」、「聖書には…」といった表現を聞いたことがあるでしょうか。

これらの表現は、約 80 年前にビリー・グラハム牧師が使っていた、独自のものでした。あれから 4 世代近くたった今でも、人々はまだこれらの表現をよく耳にします。もしグラハム牧師がその時、間違った福音を伝えていたらどうなっていたか想像できますか。また、間違った福音を伝えていたらどうなるか想像できますか？

ここで、質問ですが、「イエス・キリストを通してもたらされる神の恵み」について、皆さんだったらどのように伝えますか。聖書の中では、時が良くても悪くても、御言葉を宣べ伝えなさいと言っています。

誰かに出会った時、私たちが持つ希望についてその人にどのように伝えたらいいのか、考えたことがありますか。ぜひ一度、考えてみてください。同僚や友人に福音をどのように伝えるべきか考えたことがあるかもしれません。しかし、人に福音を伝えるためにその人に合わせるために、方にはまらないような方法を考えたことがありますか。

例えば、子どもに福音を伝えたいと思ったら、何について話しますか。どのように始めますか。私たちは贖いが必要で、私たちの罪のための宥めの献げ物であるキリストのもとに来ること、キリストが私たちの罪の代償者となってくださる、などという話をしたらどうでしょう。

それはやめてくださいね！子どもはきっとポカーンとして、メッセージの内容も理解しないでしょう。

都会の子供たちのためのキッズテーブルミニストリー、教会の子供たちのための KiDZ チャーチミニストリー、またすべての子供たちのための VBS に参加してみてはいかがでしょうか。なぜなら、これらのミニストリーは、どのように子供達に福音を伝えるのを学ぶだけでなく、子供達に福音を伝えるのにも最適な場所だからです。

ご興味がありましたら、私かすみこさんにご相談ください。お手伝いさせていただきます。

パウロは8節でこう続けます。
8 神は、この恵みを私たちの上に溢れさせ、あらゆる知恵と思慮深さをもって、

7節の最後の言葉からもわかるように、神は私たちに恵みを豊かに与えてくださいます。そして、恵みとは贖いであり、これはあらゆる知恵と思慮深さ、つもり理解によって与えられました。

神が贖っているのは、私たちだけではないことを私たちは知っています。神はその知恵と思慮深さによって、目に見えるものも見えないものも含め、全てのものを贖っています。

しかし、恵みはどのように働いて宇宙全体に影響を及ぼすのでしょうか。神の知恵です。神の恵みと知恵は特別な繋がりがあります。時を超えて交わり、相互作用し、あらゆるものに影響を与えてきました。歴史の中で知恵を辿れば、未来についてより深く理解できるでしょう。

1. 創造
時の始まりに、知恵はどこにあったか覚えていますか？

箴言 8:22-27 の中で、知恵は私たちにこのように語りかけていることを知っていますか。このようにあります：
22 主はその道の初めに私を造った／いにしえの御業の始まりとして。23 とこしえより、私は立てられていた／太初より、地の始まりから。24 まだ深淵もないとき／私は生み出されていた／大いなる原初の水の源もまだないときに。25 山々もまだ据えられず、丘もないとき／私は生み出されていた。26 神が、まだ地も野も／この世界の塵の先駆けさえも／造っていなかったとき 27 神が天を確かなものとしたとき／私はそこにいた。／神が深淵の上に蒼穹を定めたとき

すべての被造物は、まず知恵において完成されました。
「31 神は、造ったすべてのものを御覧になった。それは極めて良かった。夕べがあり、朝があった。第六の日である。」（創世記 1:31）

2. 人間の堕落
イブは、園の果実のどんなところに誘惑されたのでしょうか。創世記 3:6 には、彼女が望んでいたものが3点記されています。

「6 女が見ると、その木は食べるに良く、目には美しく、また、賢くなるというその木は好ましく思われた。」

イブは罪を犯し、律法を破り、神が善とした創造物を破壊し、そこから、すべての創造物は悪へと転じて行きました。

3. 宇宙の贖い
神が「知恵」によって全てを善く完全なものにしたにもかかわらず、人間の間違った知恵への欲望により、それが破壊されたならば、神はどのようにして全てのものを回復させるのでしょうか。

「恵み」という新しく隠されてきた知恵によって回復させます。そしてこの「恵み」を神は目に見える形で示されます。クリスチャンの皆さんはそれを耳にし、信仰によって永遠に贖われています。回復は、イエス・キリストを信じる皆さんの内で、また真理の証人となる皆さんを通して、今まさに起こっています。

この神の知恵を通して、私たちは神の力を体験できます。そして、神の知恵を分かち合うことで、他の人々も神の力を体験できます。神の知恵、すなわち神の栄光ある恵みを、あらゆる人々と分かち合うのが必要です。

実例
以前、神学校に通うため家族と一緒にテキサスに住んでいました。最後の1年は、大阪で宣教師として働く機会が与えられました。そのために大阪に引っ越しました。

どうなるか想像できませんでしたが、英語を教えてくれる宣教師を探していたようです。まさか私が 50 人もの生徒を抱える学校を丸ごと引き継ぐことになるとは思いもしませんでした。生徒の多くは幼い子供たちで、親の同伴なし一人で登校する子もいれば、学校にそのまま預けられる子もいました。トイレトレーニングがやっとの子も何人かいました！トイレの失敗はほんの数回ありました。

大人も子どもも私の宣教の対象でした。神の恵みを彼らと分かち合いたいと思いました。大人たちにとって英語は第二外国語でしたが、子供たちに比べると福音を伝えるのが簡単でした。それでも私は精一杯頑張りました。

するとまた疑問が湧いてきます…英語を理解し話すことがほとんどできず、ましてや神の恵みがどんなに素晴らしいものなのか理解することさえできない子供たちに、どうやって福音を伝えますか。皮肉なことに、夜に宿題をしていると、神学の教科書は発音するのが難しい単語が出てきます。そのような単語は英語が話せない小学 1 年生にとって何の役にも立ちません。

しかし、皆さんだったら、何をいいますか。恵みの福音を子供達に合わせてどのように説明しますか。もし子供達が簡単に説明された福音で救われるのであれば、大人も同様です。私たちは物事を、特に福音のメッセージを複雑にしすぎるのをやめなければなりません。

私たちはかつては子供でした。それより前は赤ちゃんでした。そして、赤ちゃんとして子宮から出た瞬間からさまざまなことをあっという間に学んできました。生きるには空気が必要だと知っていたので、空気を吸いこみました。また、私たち皆、この地球上で生き残るには努力と労力が必要であることも学びました。小さな子供たちも、同じように理解しています。幼い頃から、人はいつか死ぬということを知っています。

そして、ほとんどの子供は 5 歳になる前に、死は決定的で不可逆的なものであることを理解し始めます。7 歳になると、死が普遍的で避けられないものであることを理解し始めます。子供たちの死に対する理解に関した観察は、現代心理学の見解と一致します。実際のところは、それよりもさらに若い年齢で理解しているに違いありません。

若くて幸せな子供たちは福音を聞く必要などない、とは決して思わないでください。神の知恵を知るために、あらゆる事の内情や理由、方法、あるいは難解な言葉を理解する必要がある、とも思わないでください。神は子供たちを愛し、恵みによって永遠の命を与えてくれます。

これは福音であり、最も基本的かつ単純な形であり、子供たちや全ての人が知っておくべきことです。それを信じ、それに希望を抱くことができるようにならためです。イエスの御名を信じるということは、イェ(ヤハウェ)とシュア(救い主)を信じるということです。その二つを合わせるとイエスの御名になり、神は救う、ご自分の民を救うという意味になります。

問題は、神の福音を分かち合う意志があるかどうかです。たとえその対象が神の創造物の中で最も小さなものであったとしても。それはTBC の KiDZ ミニストリーでできます。すみこさんや私にご相談ください。または、今年の VBS を是非手伝ってください。

9-10 節
お気づきかもしれませんが、私たちは全てを自分の観点からのみ捉え、それが自分にどのような利益をもたらすか、ということだけに焦点を当てる傾向があります。

私たちは、神の恵みを受けて、生きています。パウロは私たちが何によって祝福されているのかの全体像を、この聖書箇所、聖書で一番長い分で表しています。同時に、神がそのやり取りの中で何を得るのかを明らかにしています。

聖書は、キリストによる犠牲の死を描写する際、しばしば「買い取り」、「身代金」、「贖い」といった表現を用いています。キリストの血は、支払われた代価として提示されています。しかし、イエスはこの取引で一体何を得ているのでしょうか。

使徒行伝 20:28 は、「イエスが自分の血によって獲得した神の教会」について語っています。

ヨハネの黙示録 5:9 では、イエスはどのように讃えられているか書いてあります。9 そして、彼らは新しい歌を歌った。／「あなたは、巻物を受け取り／その封印を解くのにふさわしい方です。／あなたは、屠られて、その血により、神のために／あらゆる部族と言葉の違う民／あらゆる民族と国民の中から人々を贖い

パウロは宇宙の神秘と目的を明らかにしています。そして、エフェソの信徒への手紙 1:9-10 で、終末、つまり私たちが終末論と呼ぶものについて語り始めます。

9 御心の秘義を私たちに知らせてくださいました。これは、前もってご自身でお決めになっていた御心によるものであって、10 時が満ちるというご計画のためです。それは、天にあるものも地にあるものも、あらゆるものが、キリストのもとに一つにまとめられることです。

その「秘義」とは、すべての創造物が一緒にまとめられ、天と地にあるすべてのものがキリストの内に集められることです。そして、神の民とすべての創造物がキリストの内に集まることは、神にとって大きな喜びです。しかし、実際のところ、「秘義」はここで終わりではありません。

私たちはよく「どうすれば天国に行けるの？」なんて言いますよ。そして、天国は上の方にあると信じていて、そこで永遠に生きられると信じていますね。私たちの中に、主の元に行くために雲の上に行く、と考える人がいるかもしれません。そして、天国の門の前に並んでいると、そこにペテロが手に本と鍵を持って立っている姿を想像する人がいるかもしれません。しかし、どれもあまり正確ではありません。

明らかにされていない事柄からは誤解が生じやすいです。先ほども述べたように、ギリシャ人は神について明らかに誤解していました。イエスが教えを説いた古代ユダヤの一派であるサドカイ派の人々は、聖書を持っており、当時からその預言を聞いていたにもかかわらず、復活を信じていませんでした。それに対しギリシャ人は科学者であり、原子という言葉さえも発明しました。サドカイ派は、独自の伝統や宗教をもって神に非常に近かったにもかかわらず、今日のほとんどの宗教と同様、神について誤った理解を持っていました。

エフェソの信徒への手紙の中で私たちが見出す驚くべき真実は、神の民に対する神の愛と、私たちが神の民であることで神が受ける栄光を知ることができるということです。しかし、神が得るのはそれだけではありません。エフェソの信徒への手紙 2:21b-22 には、教会が主にあって、聖なる神殿へと成長し、御霊なる神の住まいとして一緒に建てられていくことが記されています。

私たちが主の元にいくために天に上るのではなく、むしろその逆で、主が来て私たちとともに住まわれます。

ヨハネの黙示録 21:3-4
3 そして、私は玉座から語りかける大きな声を聞いた。「見よ、神の幕屋が人と共にあり、神が人と共に住み、人は神の民となる。神自ら人と共にいて、その神となり、4 目から涙をことごとく拭い去ってくださる。もはや死もなく、悲しみも嘆きも痛みもない。最初のものが過ぎ去ったからである。」

これが私たちの希望であり、私たちがイエスを必要とする理由です。大人も子供も、誰もが死や悲しみ、涙や痛みを望んでいません。終末の時が現実のものとなったとき、人生はこうなります。主が私たちと

ともにいてくださるので、私たちも主とともにいます。そして、すべてのことが完全かつ正しくあります。

結論
ではなぜ、イエスは走り回って「神の王国はあなたたちの中にある！」と叫んでいたのでしょうか。ユダヤ人たちにとっては、イエスが終末の始まりについて語っていると考えました。つまり、イエスは将来の王国を成就するために来られたということになります。しかし、ユダヤ人たちはそれが気に入りませんでした。そしてイエスが復活したとき、弟子たちもイエスがそのために来られたのだと考えました。

使徒言行録 1:6 にはこう書いてあります。
6 さて、使徒たちは集まっていたとき、「主よ、イスラエルのために国を建て直してくださるのは、この時ですか」と尋ねた。

しかし使徒言行録 1:7 で、イエスはこう答えました。
7 イエスは言われた。「父がご自分の権威をもってお定めになった時や時期は、あなたがたの知るところではない。」

今日、ほとんどのキリスト教徒は、実現された終末論を説く人々の話には触れようともしません。実現された終末論は、キリストが最初の到来で終末を成就したため、再臨はないということを意味するからです。だから注意しなければなりません。しかし、パウロはここで私たちに、今、私たちはキリストにあって、天にあるあらゆる霊的な祝福を授かっていると教えています。

ですから、キリストご自身が、神の国がいつ建て直されるかについて考えることさえしないようにと言われた一方で、使徒言行録 1:8 でこのように言っておられます。

8 ただ、あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受けそして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てま私の証人となる。

私たちは、子供でも大人でも、誰にでも福音を伝えるためにここに
ます。なぜなら、福音を伝えようと努めると聖霊の力を得て、それ
目の当たりにすることになるからです。霊的な賜物が活発になり
想以上に物事や人々が神に近づくのを見るでしょう。

ですから、イエスの承認となる力がないと思った時―それが頑固な
戚と一緒に家にいる時、VBS のボランティアをする時、宣教師に
るためにアフリカに飛ぶ時―神の約束は実現されて、力を得るで
う。恐れることはありません。神は霊において皆さんと共におら
す。自分が思っている以上に多くのことができます。なぜなら、信
においては、生きるのは私たちではなく、キリストが私たちの内に
きるからです。それが今日、信仰によって神に与えられている力

招き
今日、皆さんが神の子、イエス・キリストを信じ、その名「イエス（ヤハ
ェは救う）」を信じるなら、死ぬことはなく、永遠の命を得ます。そ
れば、生き残るために働く必要がなくなります。なぜなら、神が、私
ちが生きるために働いてくださったからです。

今日でも、神の恵みと平安を受け取り、生ける神と関係を持つ喜びを経験するでしょう。神は私たちとともにあり、そして神の民とともに、永遠にいるでしょう。

お祈りしましょう。

定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg1925jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
5 月 11 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 201
クリスチャンとして成長する
6 月 7 日(土)1:30pm – 5:30pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了した教会員

★クラス 401
クリスチャンとして成長する
6 月 15 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 301 を修了した教会員

全クラス申し込み： https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu